

■小川トク 織姫。久留米に行き緋を知るや改良に乗り出し、久留米縞織を創始して大評判、地域指導もして一大産業へ誘導。

おがわとく

蚕社の獄・1839＝ 武蔵国足立郡宮ヶ谷塔村(埼玉県)で、農業を営む小川善五郎・チエの三女に生れる。

近代の超克・1942＝ 3歳：流行病が発生して、父母が相次いで死去したため、

祖父母に養育され、

阿部正弘首座1845＝ 6歳：

・・・1848＝ 9歳：近所の清吉を訪ね不在だったが、その母が機織しているのに強く惹かれて触れさせてもらい、帰宅すると早速機織を出してもらい、機織に挑戦し始め、

わからなくなる度に、清吉の母を訪ねて教えを乞ううち、

ペリー来航・1853＝14歳：

蕃書調所・1857＝18歳：この頃には、その技術は熟練の域に達し、機屋から受取る駄賃が家計を助けるまでになる。祖父母の強い願いで、清吉とではなく虎蔵と結婚し、男子栄三郎を出産するも、夫はグウタラで、機屋の織姫の繋ぎ役までして稼ぐうち、自ら創案する快感を会得するが、生活の展望が開けず、

安政の大獄・1859＝20歳：姿を消していた清吉から突然呼出され、江戸に働き口を見つけてもらい、祖父に子を奪われながら家出、
桜田門外変・1860＝21歳：江戸に出、久留米藩邸に住む藩士戸田覚左衛門(一説に早川勘兵衛)の女中となり、

覚左衛門の母摂子の配慮もあって、務め続けるうち、

薩長同盟・1866＝27歳：藩主お気に入りの大工棟梁宗野末吉と出会い、久留米緋開発した井上でんと田中久重のことを知る。

大政奉還・1867＝28歳：大政奉還となって、藩士らが国元に帰れるようになると、覚左衛門の母子を送り届けるように指示され、

明治維新・1868＝29歳：清吉との結婚も無理と分り、以後親交するお重らのサポートを受けながら、久留米に行く。

版籍奉還・1869＝30歳：この年死去した井上でんが残した久留米緋と出会い、生産は盛んながら技術の幼稚さを見ると、販売商木村庄兵衛の励ましもあって、改良を思い立ち、

廃藩置県・1871＝32歳：長く苦勞をともししてきた覚左衛門の母摂子が死去。

学問のすすめ1872＝33歳：久留米に戻って時計屋を開業した宗野末吉と再会、足袋職人倉田雲平を紹介される。この頃、お重の紹介で
吉開徳三と再婚し、

明治6年政変 1873＝34歳：この頃、娘浅乃を出産。久留米に戻っていて上京する直前の晩年の田中久重を訪ね、かつての記憶を便りに機織の設計をしてもらい、

初の民間工場1875＝36歳：*ついに機織に成功すると、「久留米縞織」と命名して機屋{小川縞織商店}を開業、

やがて機織見学者さらには弟子入り希望者が押寄せせる状態となり、

西南戦争・1877＝38歳：西南戦争後の景気もあって、

大久保暗殺・1878＝39歳：一気に広がって行く。

明治14年政変1881＝42歳：

以後、久留米縞織の技術を習う者を熱心に指導して、新規の機屋も続々開業し、

秩父事件・1884＝45歳：

開業10年余りで、久留米の縞織物は年間6万反になり、緋は18万反もあったことから、

帝国大学始・1886＝47歳：*機織り業者も加わって{久留米緋同業組合}が誕生。

帝国憲法発布1889＝50歳：作業場が手狭になったため、水道町に移転。この年、久留米市制が敷かれ、竹川一座のオッペケペーに小川トクの名が読み込まれる。

郡司千島探検1893＝54歳：{久留米縞織組合}が結成されるも、この年、*娘浅乃が夭折し、以後、ふさぎごみがち。

日清戦争始・1894＝55歳：

日清戦争終・1895＝56歳：この年、日本のかすり生産高が80万反を突破。

政党内閣初・1898＝59歳：井上でん没後30年の記念碑落成記念に招待され、{組合}は、久留米縞織を開発し久留米の一大産業に発展させた功績に対してトクに頒徳表を贈り、また報恩金として毎月6円ずつ贈ることとする。

教科書疑獄・1902＝63歳：工場を安男に譲り家も引き払って、白山で一人住まいを始める。30余年親交してきたお重が死去。

日比谷公園・1903＝64歳：木村庄兵衛も死去。

日露戦争終・1905＝66歳：

この間、西洋からの技術流入で、久留米縞織は衰退し、組合からの手当も滞って生活が苦しくなるなか、久留米縞の小川商店の商標から母と確信した栄三郎が、突然、子つまり孫徳三郎を迎えに寄こし、続いて栄三郎から手紙も来て、遂に帰郷を決意、

韓国併合・1910＝71歳：{福岡日々新聞}に記者による聞き書き連載記事「小川トク子去る」。存命中の知己や弟子たちに暖かく送られて、50年ぶりに郷里に帰り、息子栄三郎と再会したが、家族水入らずの生活も続かず、

大逆事件判決1911＝72歳：

明治天皇没・1912＝73歳：

大正政変・1913＝74歳：没した。